

国際

こだいら



2005年
No.46

Kodaira International Friendship Association News



2005年7月10日 (日)

こだいら国際交流フェスティバル

アンデスの響き「クントゥール」



ちよっと一息



お化け屋敷



折り紙コーナー “つる”を1人で折れるかな?



いけばな体験



ドリンク&おしゃべりコーナー

こだいら国際交流 フェスティバル

平成17年度役員・評議員の紹介 <平成17年6月8日現在>

役職名	氏 名	
*理事・監事		
理事長	山之内照雄 (市民)	
副理事長	安部 泰人 (奉仕団体)	岡田 孝 (奉仕団体)
	松岡 芳夫 (小平市)	
理事	土屋 国和 (奉仕団体)	小野 高一 (産業団体)
	大森 道夫 (産業団体)	神石 實 (産業団体)
	奥村 秀 (医療団体)	本元 久之 (医療団体)
	木村 優夫 (大学)	酒井田達郎 (産業団体)
監事	森下 幸一 (小平市)	北 厚美 (産業団体)
*評議員		
議長	中村登何之進 (市民)	
評議員		
	粕谷 茂里 (市民)	ベルデズモンドトマス (市民)
	アモアベンクアンチュ (市民)	高杉 喜平 (市民)
	朱 海慶 (市民)	佐賀 一郎 (ボランティア団体)
	江連 紀子 (ボランティア団体)	山口 伸一 (産業団体)
	浦田智賀雄 (産業団体)	井上 房次 (産業団体)
	加藤 順子 (社会教育団体)	篠島 弘一 (社会教育団体)
	太田アキラ (大学)	加治屋さわみ (大学)
	山田 寛 (大学)	石塚 信治 (市議会)
	窪田 治 (小平市)	

平成17年度ボランティア連絡会幹事紹介 (役職、五十音順)

5月12日のボランティア連絡会総会で、代表幹事、副代表幹事をはじめ、各ボランティアグループから選出された幹事が紹介されました。ボランティア相互の情報交換や意見集約、交流などを図る活動を進めていきますので、皆さんのご協力、ご支援をお願いいたします。

- ・代表幹事 佐賀 一郎 (情報提供コーナー)
- ・副代表幹事 江連 紀子 (世界の料理)

幹事	グループ名	氏名
	日本語会話教室	月曜日 佐々木恵子
	日本語会話教室	金曜日 小柳津敏子
	日本語会話教室	土曜日 大竹 徳子
	国際こどもクラブ	床井 薫
	機関紙	恒松 俊彦
	交流サロン	鈴木 千穂
	文化紹介事業	足立 晋
	交流事業	岸上 忠史
	留学生と交流しよう	加藤 豊

平成16年度は次のような事業を行いました

- ◎国際理解及び国際親善の普及事業
国際こどもクラブ、日本語会話教室、英会話教室、フランス語会話教室、国際交流芸術展、アジア漫画展
- ◎地域における友好交流事業
国際交流フェスティバル、文化紹介と交流の広場、ハロウィンパーティー、ホームビジット事業、交流サロン
- ◎地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業
世界の料理紹介、やってみよう太極拳、外国人のための茶道入門
- ◎国際交流情報の収集及び地域への提供事業
機関紙発行、情報紙の発行、情報提供コーナーの運営、電子情報の発信
- ◎その他協会目的達成のために必要な事業
ボランティア活動の推進、新年交流会、一橋大学留学センターとの共同主催講座

平成16年度収支決算

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

○収入の部		(単位:円)
科目	決算額	
賛助会費収入	1,658,000	
補助金収入 (市補助金等)	12,965,000	
寄附金収入	0	
積立金繰入	0	
事業収入	5,533,055	
雑収入 (預金利息等)	31,196	
前年度繰越金	1,946,630	
収入合計	22,133,881	

○支出の部		(単位:円)
科目	決算額	
事業費	8,908,413	
国際理解及び国際親善の普及事業	4,754,108	
地域における友好交流事業	1,419,562	
地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業	428,539	
国際交流情報の収集及び地域への提供事業	1,862,933	
その他協会目的達成事業	443,271	
管理費 (管理運営費)	10,867,209	
積立金	0	
予備費	0	
支出合計	19,775,622	

水墨画を描こう

KIFAでは朱海慶先生を迎えて4月15日から7月1日までの毎週金曜日（除休日）午後2時～3時30分まで水墨画の教室を開いている。受講生は21名。静かな雰囲気の中に熱心に励んでいる。

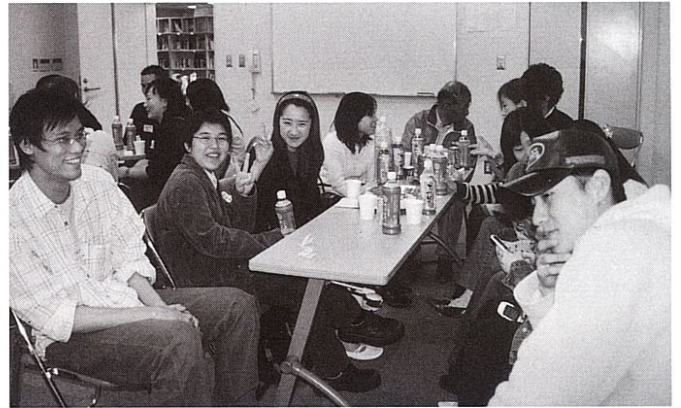
水墨画は中国では漢の時代からあるが、一般には唐の時代から墨一色を用いてその濃淡の調子によって、山水画を中心に成立したといわれる。日本では鎌倉中期に禅宗と共に入り禅の精神を表わすものとして盛に描かれた。

本講座では竹の絵を中心に先生のお手本を見ながら描いているが、墨の濃淡（5段階）により葉の前後の関係を表わすことができ、先生は一人一人の机にまわって熱心に指導しておられた。竹の絵が上手に描けるよ

うになるには10年位かかるとの事である。また水墨画は写生が大切だが、それだけでなく、自分の心を加味しなくてはならないという先生のお話は大変奥深いものであると感じた。



International Friendship Party 留学生との国際交流パーティ



毎月1回KIFAで開かれている交流パーティー、6月18日（土）におじゃましました。この日は、30人近くの人が集まりました。インド、バングラディッシュ、フィリピン、中国、韓国、ベルギーなど、参加者の出身地はさまざまです。初めは壁際の椅子に座っている人が多かったようですが、時間がたつにつれいくつかのグループができ、交流が始まりました。日本語、英語、その他思い思いの言葉で会話を楽しんでいました。初めて参加した人が、「楽しかった。また来ます。」と、手を振り帰って行ったのが、印象に残りました。

インタビュー イタリア

イタリアのどちらのご出身ですか

シチリア島です。とても美しい所で色々楽しめます。ギリシアやアラブから影響を受けた所です。人々はとても親切で気さくです。

日本にはどのくらい住んでいますか

昨年10月に来たので、まだ一年住んでいません。でも今年の8月には帰国します。

日本の印象はいかがですか

人々は親しみやすいです。日が暮れるのが早いです。冬は6時か7時には太陽が沈みます。不思議です。他には、自然が豊かで緑が多いです。しかし通り沿いには1km先まで家があります。家が多過ぎますね。

日本に来て驚いた事はありますか

雨や台風に驚きました。それから、駅のベンチで男性も座るのに驚きました。イタリアと違います。レディファーストの国ですから。

日本とイタリアの違いは何ですか

一般的に日本人は一日中よく働きます。イタリアでは仕事に行くのは10時か11時ですぐ昼食の為に帰ります。そして、それぞれの宗教ごとに人が集まります。若い人も年配の人も男性も女性も皆一緒に集まり毎日がお祝いのように賑やかです。食事のあとは、地域によって異なりますがシエスタと呼ばれる昼寝の時間帯があり、この間は店も閉まります。



NEW INTERVIEW

東京学芸大学で英語を学んでいる留学生
ヌッチャ・ファリッコさんに
イタリアを語って頂きました
長いまつげに大きな瞳が
印象的でした。

どんな料理が好きですか

日本料理では寿司が好きです。ウニは苦手ですが。納豆も食べられます。他には焼肉やラーメンも好きです。イタリア料理も食べましたが、日本ではソースの味が甘すぎます。それから、イタリア人は食べるのが好きです。前菜に始まり、パスタ、サラダ、メインディッシュには肉か魚を必ず食べます。また、気になったのは日本人は何でも冷蔵庫に入れてしまうことです。赤ワインなどは常温の方が美味しく飲めます。

これからの夢を教えてください

ドイツに住む両親の元へ戻り、スペイン語やトルコ語の勉強がしたいです。それから以前に心理学を勉強していたので、それを生かした仕事がしたいです。最後になりましたが日本人へのメッセージをお願いします

日本人は働きすぎです。もっと人生を楽しんだらいかがですか。

森の中でバーベキュー

5月22日(日)小川上宿の子どもキャンプ場で、韓国・中国・フィリピン・ドイツ・カナダ出身の外国人家族や留学生とボランティアが50人ちかくあつまり、炭火の鉄板で肉や野菜やソバを料理してたのしくたべました。たべたあとは歌ったり、茶をのんだりしてから「ダルマさん、ころんだ」のゲームで汗を流しました。



日本料理講習会

6月8日(水)

今回は、材料をシンプルにして、いなり寿司、大根と豚バラのべっこう煮とかぼちゃの煮物を作りました。参加者は、韓国、中国、コロンビアの方達、それにボランティアなど10名でした。

べっこう煮とかぼちゃの煮物は、じっくり時間をかけて煮込む料理なので皆で、味をみながら、「もういいかな」「もうちょっとだね」などと、言い合いながら、かぼちゃは色よく、大根はきれいなべっこう色に出来上がりました。



大根とかぼちゃを煮ている間に、いなり寿司作りです。今は、すし飯を簡単に失敗なく作ることができるいい物があり、とても便利です。

すし飯を、うちわで扇ぎながら、素早く切るように混ぜて艶よく仕上げるといことは、参加者にとっては、初体験のようでした。

だしをきかして、甘辛く煮ておいた油揚げにすし飯をつめる、これが、なかなか難しかったようでしたが、愛情も一緒につめた個性あるいなり寿司が出来ました。

紅しょうがを飾って、さあ試食です！

皆、自分達の作った料理が、おいしく出来たのに感激！

「今晚のおかずはこれに決まり」という声も、大根のべっこう煮は絶賛でした。



国際子どもクラブ 異文化紹介 アメリカ

6月4日(土)ロイス榎本さんによるアメリカ文化の紹介が行われました。ロイスさんの故郷はオクラホマ州、現在は小平市に住んでいますが、大阪で暮らしていたこともあるとのこと。ご主人は日本人です。

話が始めると、聞き手の子供たちは初めから積極的に質問をしていきます。アメリカに行ったことがあるという子供もいました。ロイスさん手作りのピーナツバタークッキーが配られるとみんなにっこり。クッキーを食べながら、オクラホマの歴史がよくわかる映画のビデオを見ました。

その後は、ゲームです。まず、日本の花いちもんめに似た遊びです。「レッドローバー、レッドローバー…」と掛け声をかけて遊びました。以前にウズベキスタンの文化紹介の時にも同じゲームをしたことを思い出しました。ヨーロッパからの移民が伝えたものなのでしょうか。次に手を叩きながらリズムよく順番に英単語を言う遊びをしました。今までに習った言葉を思い出しながら、大きな声を出し楽しんでいました。終わった後、クッキーの作り方を教わろうとロイスさんのまわりにたくさんの子供たちが集まっていました。



No.45号の「平成17年度予算」で誤りがありました。訂正してお詫びします。

正 平成17年度予算収支予算(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

誤 平成16年度予算収支予算(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

編集後記

「日本人の友達はいません。」なんて勿体ない！日本人の特長は“親切”だっていうのに。フレンドリーな気持ちさえあれば、外国語が喋れなくたって大丈夫なのがKIFAのイベントの最大の魅力。老若男女、多くの地域住民の参加で、国際交流がご近所付合い程にも身近なものになりますように、そして心細い思いで暮らす外国人の方が一人もいなくなりますようにと願いつつ、私はこの夏も盆踊りで心と技の交流です。きよしのズンドコ節が難しくて… (荻野)

発行日 平成17年8月1日

発行 小平市国際交流協会 編集 機関紙グループ

〒187-0045

小平市学園西町2-12-22 学園西町地域センター 3階

☎042-342-4488/FAX. 042-347-3003